

第1回「こころとからだ」を学ぶ勉強会

PTA 第1回「こころとからだ」を学ぶ勉強会

1月23日(火) 本校会議室に於いて勉強会をPTA主催で開催しました。学校より勉強会に先立ち、特に性の問題だけにフォーカスするのではなく、子ども達が「まず自分を大切にし、自分を大切にできるから、大切な人を大切に出来ること」を目指し子ども達へ寄り添っているとお話がありました。勉強会の内容は主に3つです。

- ① 学校より「こころとからだ」の学習状況について
- ② 学校より 教材紹介
- ③ ①②を踏まえた質疑応答 意見交換(学校⇄保護者 保護者⇄保護者)

具体的には

- ① 各学期1～2回程度、子ども達それぞれの状況に合わせて3グループに分けて「こころとからだ」の授業内容を設定している。学年ごとにプール学習の前や、宿泊学習の前などに実施している。内容については、各担任の先生にご確認ください。
- ② 身体の性によって起こる変化と心の性との違和感を覚える場合や、SNSトラブル、パーソナルスペースにおける教材が男女間の設定しかないことは少し時代にそぐわない状況だと感じました。子ども達の状況に合わせて、寄り添っていくことが学校でも家庭でも大きな課題だと感じました。
- ③ 質問の一例として「こころとからだ」の具体的な授業内容は？や性被害への対応はどう教えている？二次性徴による身体の変化へ具体的にどのように学校では対応しているか？などが、事前に寄せられていました。会場内でも①②をお聞きした上で、質問が上がり活発な意見交換の場となりました。

「こころとからだ」について学校ではどのように子ども達に伝えているのかについて、保護者の立場としてまずは学びたいという思いから勉強会を企画しました。参加者は23名(内オンライン4名)でした。ご参加いただいた皆さまのご家庭と学校が同じ方向で子ども達に寄り添い、いまの問題が少しでも解決に向かうきっかけになれば幸いです。

勉強会后に、ある参加者より「参加者間でそれぞれの家庭での対応方法などが聞けてよかった」との感想を伺いました。また、最後に学校より「それぞれのお子さんの状況やご家庭の考え方等から誰もにあてはまる具体的な対処法を見つけることは難しいが、子どもたちのからだやこころの変化を受け止め、寄り添いながらより良い対応を本人やご家庭と考えていきたいです」との言葉で勉強会は閉会しました。

PTA 副会長